

科目の年間授業計画

教科・科目	保健体育・保健<必修修科目>		単位数	1 単位	履修学年(年次)	1 年次
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</li> <li>・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</li> <li>・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</li> </ul>					
使用教材	大修館 701 現代高等保健体育					
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)		(主体的に学習に取り組む態度)		
	個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに技能を身に付けている。	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。		生涯を通じて自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。		
評価方法	定期考査・レポートなどを含め、評価の観点・基準にしたがい総合的に評価する。					
学期	学習内容			学習のねらい		
1	『現代社会と健康』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の考え方と成り立ち</li> <li>・私たちの健康のすがた</li> <li>・生活習慣の予防と回復</li> <li>・がんの原因と予防</li> <li>・がんの原因と回復</li> <li>・運動と健康</li> <li>・食事と健康</li> <li>・休養・睡眠と健康</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな健康の考え方や、健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。</li> <li>・わが国の健康水準の変化とその背景や、現在の健康課題について説明できる。</li> <li>・生活習慣の種類と要因について説明できる。</li> <li>・がんの種類や原因について説明できる。</li> <li>・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。</li> <li>・健康と運動の関係について説明できる。</li> <li>・食事と健康の関係について説明できる。</li> <li>・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。</li> </ul>		
2	『現代社会と健康』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙と健康</li> <li>・飲酒と健康</li> <li>・薬物乱用と健康</li> <li>・精神疾患の特徴</li> <li>・精神疾患の予防</li> <li>・精神疾患からの回復</li> <li>・現代の感染症</li> <li>・感染症の予防</li> <li>・性感染症・エイズとその予防</li> <li>・健康に関する意思決定・行動選択</li> <li>・健康に関する環境づくり</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。</li> <li>・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。</li> <li>・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。</li> <li>・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。</li> <li>・精神疾患を予防する方法について説明できる。</li> <li>・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。</li> <li>・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。</li> <li>・感染症の予防について3原則から例をあげて説明できる。</li> <li>・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。</li> <li>・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。</li> <li>・社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。</li> </ul>		
3	『安全な社会生活』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の現状と発生要因</li> <li>・安全な社会の形成</li> <li>・交通における安全</li> <li>・応急手当の意義とその基本</li> <li>・日常的な応急手当</li> <li>・心肺蘇生法</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の実態と被害の実態について説明できる。</li> <li>・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。</li> <li>・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。</li> <li>・応急手当の意義について説明できる。</li> <li>・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。</li> <li>・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。</li> </ul>		
学習上の留意点	生徒一人ひとりが自らの健康をコントロールし、改善できるようにする。					